令和６年度　青葉区中央市民センター主催事業

「河岸段丘崖を辿る」

城下の高低差を体感するまち歩き MAP

～勾当台公園から仙台駅前編～

仙台上町段丘面

仙台中町段丘面

段丘ポイント

仙台市街地は河岸段丘の上に造られた都市です。上町と中町の高低差は 3～5mもあるから、昔から土木工事でなめらかにして道路を作ったそうです。
詳しくは右の QR コードを読み取ってね。青葉区中央市民センターのホームページにつながります。
出典:「平成 25 年度版　仙台の自然」仙台市教育委員会

「公開空地」
今回まち歩きを行ったコースに「公開空地」がいくつかありました。公開空地については裏面の QR コードを読み取ると、詳細がわかりますよ。

⑨　末無掃部丁通り

アエル北側に細い横丁坂道があります。寛文事件を起こし非業の死を遂げた原田甲斐の４人の息子が切腹させられた地、上遠野掃部(かどのかもん)常英の広大な屋敷に向かう坂道。今は国道 45 号線まで通っていますが、かつては袋小路(末無し)でした。通りに立つと意外に急な坂道であることがわかります。

①　養賢堂跡

仙台藩の学問所として設立。その後、旧宮城県庁舎として利用されていました。その表門は南鍛冶町泰心院に山門として残っています。

出典:「目で見る仙台の歴史」
仙台市史図録編纂委員会　編

②　定禅寺・勾当台

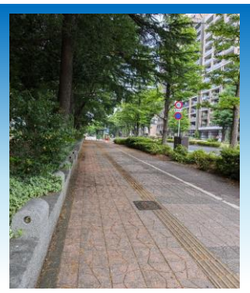
定禅寺は伊達家の祈願寺として城の鬼門である東北に配置されましたが、明治の廃仏毀釈により廃寺となりました。現在の勾当台公園の中から合同庁舎の辺りにありました。

③　錦町公園東側の石垣

仙台市街地は隆起と広瀬川の侵食堆積でできた河岸段丘の上に形成されました。市街地の最上部に位置するのが上町段丘で、今も至る所にその地形が残っています。一番高低差を体感できる場所です。

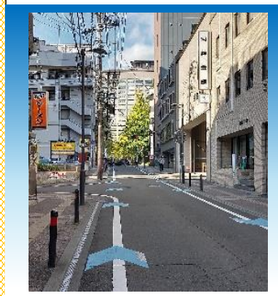
④　錦町公園北側(段丘崖)

上町段丘と中町段丘を結ぶこの坂は見た目以上の勾配があります。かつて市電はこの坂をあえぐように登っていました。



⑤　東三番丁通り

この付近は段丘の境目で、城下町時代から多くの坂がありました。東三番丁通りの緩やかな坂もその名残です。



⑥　愛宕上杉通

この通りは北に向かって河岸段丘の段差を感じることができます。公園脇の交番まで歩くと、かなりの高低差があることがわかります。秋になり、黄色く色付いた銀杏並木の坂道はいい感じです。

⑦　茂市ヶ坂・元寺小路

元寺小路から花京院に向かう坂道が茂市ヶ坂。中町段丘と上町段丘を結ぶ坂道です。元寺小路(通称家具の街)は愛宕上杉通で寸断され、元寺小路教会脇から広瀬通前へと続いていた名残です。

⑧　宮城野橋(X 橋)

アエル北側歩道橋から東を見ると宮城野橋に架かる街灯に×(エックス)のマーク。元寺小路と名掛丁が橋のたもとで合わさり、橋を渡った先で二十人町と鉄砲町への２方向の道に分かれていた通称×橋のモニュメントです。